



消防大学校だより



消防団長科における教育訓練

消防大学校では、消防団の上級幹部に対し必要な知識と能力を提供することを目的として、「消防団長科」の総合教育訓練を実施しています。令和6年度には、第85期（7月22日～7月26日）と第86期（10月7日～10月11日）の訓練を実施し、5日間（計30時間）の教育訓練を修了しました。

消防団上級幹部の受講者は、通常本業を持ちながら地域の防災活動に取り組む消防団員の幹部です。令和6年度の訓練には、全国各地から集まった消防団幹部が一堂に会し、地域ごとの特性や課題について共に学ぶ貴重な機会となりました。

講義では、近年の消防団情勢や能登半島地震などの直近の災害事例を題材に、さまざまな議論が行われました。校外研修では、日本消防協会の秋本会長から、消防団幹部としての理想的な姿や消防団活動の多様化、体制強化についての講話があり、消防団の職責について再認識する機会となりました。さらに、消防庁では長官を始めとする幹部から、最新の消防団情勢や地域防災力の充実強化に向けた取り組み事項、現状の課題と対策、災害時の活動事例、加入促進や処遇改善、財政措置、安全管理に関する講義が行われました。

実科訓練では、指揮シミュレーションを通じて常備消防との連携や団員の安全管理、災害現場全体を把握する重要性について学びました。実火災体験型訓練では、火災の成長過程やフラッシュオーバー発生前の兆候など火災の特性を理解するための訓練が実施されました。

また、消防団等充実強化アドバイザーからは、都市部と地方の違いなど地域特性に応じた団員活動や訓練についての講義、さらには、今後の課題、新規団員獲得に向けたスピーチトレーニングなど、新しい時代に即した消防団のあり方について講義が行われました。



指揮シミュレーション訓練



実火災体験型訓練

研修を修了した受講者からは、「各消防団の特徴や課題を知ることができた」「消防協会長や消防庁幹部の講話は非常に役立った」といった意見が寄せられました。また、受講者同士の情報交換を通じて、大いに相互啓発の場となったとの声も多数ありました。

今後、消防大学校で学んだ知識と技術を各地域で発揮し、地域住民の期待に応えるとともに、消防団の発展に向けて大いに活躍されることを期待しています。



危険物科における教育訓練 ～実火災体験型訓練、危険物火災見学～

消防大学校では、専科教育において、危険物保安業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に「危険物科」を設置しています。

令和6年度は8月29日から10月1日まで実施しました。

座学（講義）では、最新の危険物行政の動向や法制、材料工学や土木工学、過去の事故事例等について学び、校外研修では、エネオス株式会社川崎製油所において危険物施設の見学や施設における安全管理を学び、タツノ株式会社横浜工場では給油取扱所の設備等に関する実機展示の視察を行い、危険物施設の設計に係る知見を深めました。

また、燃焼理論と腐食・防食との講義では、実験を交え、危険物の燃焼等の状況及び施設を構成する材料の性状変化の観察を行いました。

そのほか、危険物火災や漏洩事故は施設の老朽化とも相まって毎年一定程度が発生していることから、実火災体験型訓練を取り入れ、カリキュラムの充実を図っています。

実火災体験型訓練（危険物火災）は、危険物火災の特性、消火要領等を習熟することにより、安全かつ効果的な消火活動の現場指揮及び訓練指導に資することを目的に、平成28年から消防大学校における警防科、救助科などで実施している教育訓練です。

危険物科においても、危険物施設における火災性状等に関する理解を深めることを目的に、スロップオーバー現象（放水等の水分が燃焼油の表面近くの油層内で気化し油と水と一緒に溢流する）や、ボイルオーバー現象（タンク火災等で高温になった油の層が厚くなって、タンク内の水分に触れ、水が瞬間的に蒸発、燃焼油とともに爆発的に溢れ、飛び散る現象）を模擬的に再現させる燃焼の見学を実施しています。

百聞は一見にしかずの言葉のとおり、各現象が発生する前兆、発生時の状況等を目の当たりにし、入校生は危険物施設等での火災が発生した際の危険性、消防活動時の留意点を肌で感じるができたと考えます。



スロップオーバー現象の見学

危険物施設等で火災や漏洩事故が発生した場合、そこで活動する消防職員への危険性は一般火災等の災害とは比較にならないほど高くなり、周囲に与える影響も多大になります。



漏洩事故措置訓練の見学

ここで学んだ「知識や技術」及び「体験」が、規制審査、保安事務のほか、今後の警防活動や研修で広く活用されることを期待しています。

問合せ先

消防大学校教務部
TEL：0422-46-1712